

## 高知県 いの町立図書館

### 基本データ

所在地	高知県吾川郡いの町元町 41番地
職員数	12人
うち司書数	4人
蔵書数	92,077冊
利用登録者数	14,024人
年間貸出冊数	67,530冊 (児童用図書貸出数 11,584冊)

### テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 本を通じた「豊かな感性及び想像力の育成」を目標に、図書館へ足を運ぶことのできない子どもたちにも「本との出会い」の機会を提供するため、健診や幼稚園、保育園、学校など子どもたちのいる場所へ出向く
- 子どもと本が会う場所を整備する(子どもが自ら本に手を伸ばせる環境づくり)
- 読み聞かせやストーリーテリングなど、様々な本との出会いの機会を提供する
- 推進員が本と人をつなぐ

### 取組・活動の概要

#### (1) 本との出会い推進事業

- いの町に生まれ育つすべての子どもたちに、発達段階に応じた「本との出会い」の機会を提供し、切れ目のない読書支援を行う事業(平成27年度～)。4名の「本との出会い推進員」が活動している。



本との出会い推進員、保育士、栄養士との共催による食育事業

#### (2) 妊産婦及び乳幼児への読書支援

- 乳幼児健診会場に図書館のブースを開設し、親子への読み聞かせや読書相談、図書館の利用案内などを行う。
- 4か月児健診ではブックスタート、7か月児健診では聞き取りによるアンケートを実施している。

#### (3) 子育て支援センターとの連携

- 子育て支援センター「ぐりぐらひろば」を隔月で訪問し、読み聞かせやふれあい遊び、手遊びなどを実施している。



子育て支援センターでの読み聞かせ

#### (3) 全園、全小学校へのおはなしの語り手(ストーリーテラー)の派遣

#### (4) 町立小中学校(全11校)における学校図書館支援(推進員の派遣)

- 週1～2回学校図書館へ出向き、環境整備、資料の受入れや修理、図書委員会活動の補助などを行っている。
- 授業で活用する資料については、教員の要望に沿って準備を行う。学校図書館だけでなく町立図書館や、町立図書館を通じた県立図書館への支援要請などを行い図書館バスの便で各校へ配達・回収を行っている。

## 取組・活動の工夫や特徴

### (1) 本との出会い推進事業

- 本との出会い推進事業は館外での活動が主になるので、図書館来館時のフォローアップのために、館内の職員との情報共有が重要。

### (2) 妊産婦及び乳幼児への読書支援

- 乳幼児健診が図書館に足を運ぶきっかけになるよう働きかけを行う。
- ブックスタート事業開始当初は、健診の流れの都合上対象者複数人に対して一斉に行っていたが、担当課との調整により3年目から1対1に変更することができた。
- フォローアップとして健診後に図書館に来館した親子には、図書館職員が個別に読み聞かせや借りる絵本を一緒に選ぶなどしたことにより、リピーターの確保やおはなし会の参加者増につながった。

### (4) 町立小中学校（全11校）における学校図書館支援（推進員の派遣）

- 事業開始後も、小中学生の図書館利用者数・貸出冊数の減少に歯止めがかからないことが課題のひとつとなっており、対応策として図書館バスの訪問や学級文庫への配本に力を入れ、学校で図書館の本を手にとれるよう工夫している。
- 推進員は、担当校の教職員が授業で活用したい本を把握し、図書館で準備してバス便で届けるなど、本館・推進員・バスの事業間連携により、教員に負担をかけずに児童生徒が資料を活用できるよう努めている。

## 取組・活動の成果や今後の展望

### 【取組・活動の成果】

- 学校・幼保・ボランティアだけでなく、子育て支援センター、教育支援センター、教育研究所、地域支援包括センターなど、様々な機関が図書館の取組を理解してくださり柔軟に連携を図ることができている。
- 関係機関へ職員が出向くことにより、図書館へ足を運ぶことのない（できない）子ども達に直

接サービスができるようになった。特に学校では推進員が児童生徒や先生方とのコミュニケーションの中で、どのような資料や情報、サービスが図書館に求められているかといったことが把握しやすくなり、業務に反映することができるようになった。

- 町内各学校図書館の利用状況や蔵書構成に応じて、資料購入時のアドバイスや学校間の相互貸借の支援を行うことが可能になった。
- 成果の把握については、年齢別の利用状況の数字や学校図書館の貸出冊数、学習支援資料の申込数の推移などを参考にしている。
- 7か月児健診では、ブックスタート後の聞き取りアンケートを行い絵本の活用状況などを確認している。

### 【今後の展望】

- 学校図書館の電算化を行い、蔵書の共同利用を推進したい。